

2010年6月21日

ご参考資料

Follow Up
Memo

フォローアップメモ

人民元の弾力化について

nikko am
fund academy

中国の中央銀行である中国人民銀行は、「人民元相場の弾力性を高める」との声明を19日に発表し、2008年7月から事実上、米ドルに固定してきた人民元相場の変動を再び認める方針を示唆しました。ただし、週明け21日に、中国の外国為替市場での人民元相場の基準値となる「中間値」が1米ドル=6.8275元と、前週末比横ばいとなったことなどから、人民元の対米ドルでの上昇は14時半時点で0.4%弱となっています。

人民元の対米ドルおよび対ユーロ相場の推移
(2005年初～2010年6月18日)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

人民元が、対米ドルでの事実上の固定相場から、変動相場へ復帰することは、とても望ましいことです。なぜならば、中国当局が人民元政策の見直しを行わなければ、米国で保護主義が急速に台頭する恐れがあったからです。

なお、一部の通貨アナリストは、今回の人民元相場の変動も、2005年から2008年のように、対米ドルでのものと見込んでいたようですが、中国人民銀行の報道官は20日に、米ドルではなく、複数の通貨からなる「通貨バスケット^(注)」を重視して相場を動かす考えを示しています。この場合、人民元は、対米ドルでこそ事実上の固定状態にありましたが、通貨バスケットに含まれる主要通貨の1つであるユーロに対してはこれまでにかなり上昇していることなどから、通貨バスケットに対する人民元の上昇は、当面、恐らく小幅なものにとどまると考えられます。

※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

(注)通貨バスケット

自国の通貨をいくつかの国の通貨に連動させたり、参照レートとして変動幅を定めたりする方式のこと。単一通貨でなくバスケットに連動(あるいは参照)しているため、一部の通貨の急激な変動に際しても、自国通貨の変動をある程度回避できるというメリットがある。なお、中国の参照する通貨バスケットの構成比率は明確になっていないものの、米ドル、ユーロ、日本円、韓国ウォンが主要な構成通貨と言われている。

なお、今回、中国が人民元相場の変動を容認した理由において、国内経済の問題はそれほど大きな比重を占めていないと考えられます。なぜなら、不動産市場の沈静化に向けた当局の取り組みの効果などから、物価上昇や景気の過熱は抑えられつつあるとみられるからです。むしろ、当局の国際的な意図を反映している面が強いのではないかと考えられます。例えば、中国は世界の中心的存在の1つとなっただけでなく、“かなり協力的でもある”とみなされたいとの意向や、国際金融資本市場における人民元の地位向上といった意図があるのではないかと考えられます。

以上

日興アセットマネジメント株式会社
チーフ・グローバル・ストラテジスト
ジョン・ヴェイル

John F. Vail

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。